

令和8年度第3回教育研究評議会議事要録

日 時 令和8年6月17日(水) 14時30分から16時03分まで

場 所 事務局棟5階大会議室（主会場）

S-Port 3階会議室（Teams）

出席者 日詰、塩尻、金原、佐藤、二又、大石、鈴木、大島、高倉、大橋、吉川、栗井、堀（Web）、国京、鎌塚、延原、小西、遊橋、山本、松本、福田、宮原、加藤、西村、江口、平井、水谷、原和彦、近藤、今泉、青木、間瀬の各評議員

欠席者 小林評議員

陪席者 飯田、河島の各監事、中村、原正和（Web）、峰野（Web）、小野（Web）の各学長
補佐、小谷真也 安全衛生センター長、高橋雅樹 前安全衛生センター長

I 前回議事要録の承認

令和8年度第2回教育研究評議会議事要録について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1. 静岡大学安全管理協議会設置に伴う規則の制定及び改正について

興津総務部長から、静岡大学安全管理協議会設置に伴う規則の制定及び改正について、資料1により説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の一部改正について

塩尻委員から、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、これを承認した。

＜委員からの意見等＞

福田委員：工学部の3ポリシーの整合性について、適切でない部分が判明したことから、全学的に点検してほしい。

塩尻委員：全学において3ポリシーを点検し、用語の統一も含めて確認する。

3. 大学間交流協定の更新について

栗井委員から、大学間交流協定の更新について、資料3により説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 静岡大学、みんなのケア情報学会及び松崎町による「地域社会のWell-being向上を図る社会モデル構築事業」に関する協定書の締結について

塩尻委員から、静岡大学、みんなのケア情報学会及び松崎町による「地域社会の

Well-being 向上を図る社会モデル構築事業」に関する協定書の締結について、資料 4 により説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 中期目標の達成状況報告書について

大橋委員から、中期目標の達成状況報告書について、資料 5 により説明があり、審議の結果、これを承認した。

6. 第 4 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

大橋委員から、第 4 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について、資料 6 により説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. 設備マスタープランについて

金原委員から、設備マスタープランについて、資料 7 により説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、金原委員から、大規模な設備の申請について、例年、年明けに各部局へ照会し、申請手続きをしている旨の補足説明があった。

Ⅲ 報告事項

1. 令和 7 年度卒業・修了者の進路状況（5 月 1 日現在）について

大島委員から、令和 7 年度卒業・修了者の進路状況（5 月 1 日現在）について、資料 8 により報告があった。

2. 令和 7 度決算について

海藤財務施設部長から、令和 7 度決算について、資料 9 により報告があった。

3. 令和 9 年度施設整備費補助金概算要求事項について

議長から、令和 9 年度施設整備費補助金概算要求事項について、資料 10 により報告があった。

4. 各部局における内部統制システムの運用状況について

議長から、各部局における内部統制システムの運用状況について、資料 11 により報告があった。

5. 令和 8 年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について

議長から、令和 8 年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について、資料 12 により報告があった。

6. 教員採用等報告について

議長から、教員採用等報告について、資料 13 により報告があった。

7. 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料 14 により報告があった。

8. 連携協議会について

議長から、6 月 17 日に開催された本学と浜松医科大学との連携協議会について、報告があった。

＜委員からの意見等＞

小西委員：広く意見交換を行う場について、部局長としては自由に発言できる場になることを望む。自治体の長など外部の方が参加する場では、ガバナンスの観点から参加者に自由な発言が許されないことが起こり得るため、参加者が率直に発言できないのであれば、あまり意味はなくなる。

山本委員：連携協議会について、浜松医科大学と本学との考え方は平行線であることから、同協議会に参加し続けること自体に疑問がある。

佐藤委員：大学の在り方については両大学の代表者同士で議論することが適切。浜松医科大学は連携協議会を合意書の履行について議論する場と認識している一方、ソーシャルウェルネスの実現に向けた連携には共感を示していることから、連携協議会とは別の場で議論を進めることも可能ではないかと考えている。

IV その他

1. グリーン科学技術研究所 News Letter Vol. 19 の発行について

議長から、グリーン科学技術研究所 News Letter Vol. 19 の発行について、資料 15 により案内があった。

2. 「静岡大学創立 80 周年記念誌」について

興津総務部長から、「静岡大学創立 80 周年記念誌」について、資料 16 により説明があった。

3. 教職員寄附促進キャンペーンについて

興津総務部長から、教職員寄附促進キャンペーンについて、資料 17 により案内があった。

以 上